

令和5年度 家庭教育専門委員会研修会

実施期日：令和5年11月7日（火）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

後 援：（一財）埼玉県高等学校安全振興会

目 次

次第 2 ページ

発表校資料

(1) 埼玉県立越谷東高等学校 P T A 3 ページ

(2) 埼玉県立所沢中央高等学校 P T A 7 ページ

(3) 埼玉県立大宮商業高等学校 P T A 11 ページ

(4) 埼玉県立秩父高等学校 P T A 15 ページ

情報提供

① ペーパーティーチャーセミナー

② キャリアデザインセミナー

③ ハイスクール24還元事業「AED設置推進事業」

**令和5年度埼玉県高等学校PTA連合会
家庭教育専門委員会研修会 次 第**

日時 令和5年11月7日(火)
場所 埼玉会館 小ホール

受付 12:30～13:00

【司会・進行】 埼玉県立鴻巣高等学校PTA会長 及川 安由子

1 開会のことば(13:00)

埼玉県立鳩山高等学校PTA会長 白石 秋奈

2 講演会(13:05～14:20)

(1) 講師紹介 埼玉県立鳩山高等学校 校長 堀 尚人

(2) 講演

演題

【 家庭とともに守る生徒の健康と安全 】

講師

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

主査 峰岸 宏次 様 (感染症対策)

指導主事 山田 朗 様 (自転車用ヘルメットの着用)

指導主事 坂上 三四郎 様 (性に関する指導)

(3) 質疑応答

(4) お礼のことば 埼玉県立鳩山高等学校校長 堀 尚人

休憩(14:20～14:30)

3 開会行事(14:30～14:40)

(1) 委員長あいさつ 埼玉県立大宮商業高等学校PTA会長 杉本 香織

(2) 講師紹介 (司会)

(3) 発表者・校長の紹介(司会)

4 研究協議(14:40～16:00)

(1) 実践発表(各校20分)

東部支部 埼玉県立越谷東高等学校PTA会長 齋藤 亜里沙

同 PTA副会長 告 かおり 藤川 綾子

【PTAスローガンの定着を通じた学校との一層の連携強化について】

西部支部 埼玉県立所沢中央高等学校PTA会長 池邊 朗子

【家庭教育とPTA】

南支部 埼玉県立大宮商業高等学校PTA教育後援会副会長 深渡 裕子

【家庭教育とPTA】

北部支部 埼玉県立秩父高等学校PTA会長 浦島 則之

【秩父高校の家庭教育とPTA】

(2) 質疑応答

(3) 講演評(16:05)

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 主任指導主事 遠井 学 様

5 情報提供

埼玉県高等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆

6 閉会のことば(16:30)

埼玉県立白岡高等学校PTA会長 塚田 里香子



令和5年度 埼玉県高等学校PTA連合会(家庭教育)専門委員会研修会発表
～PTAスローガンの定着を通じた学校との連携の一層の強化について～

埼玉県立越谷東高等学校PTA

1 はじめに

埼玉県立越谷東高校は昭和57年度に開校し、今年度で創立42周年を迎えた全日制普通科の高等学校です。卒業生は1万2千人を超え、地域社会に有為な人材を輩出してまいりました。本校は埼玉県の東南部に位置し、元荒川に面した明るくのどかな景色の中で、生徒たちは落ち着いた環境のもと、授業や部活動、学校行事等に主体的に取り組むなど、日々充実した高校生活を送っております。

2 学校概要

本校の校訓「健康・向学・協働」には、「強い意志と体力」、「豊かな知性」、そして「規律と責任を重んずる行動」を身に付け、地域及び日本の各界で活躍する社会に有為な人材となってほしいという願いが込められております。



この校訓のもと、目指す学校像として「志を高くチャレンジ精神に満ちた生徒を育て、きめ細かく面倒見の良い指導を実践し、地域から信頼される学校」を掲げ、教職員が一丸となって、生徒一人一人の個性の伸長を図る教育の実践に努めております。

さらに「東高は、学ぶところ」、「東高は、美しいところ」、「東高は、夢や希望とともに実現するところ」、このスローガンのとおり、本校には、目の前のことに一生懸命取り組み、ともに夢や希望を語り、励ましあい、支えあい、競い合い、高めあうことのできる多くの仲間がいます。そして、すべての生徒の希望進路実現に向けた支援が行われております。

教育課程においては2学年からA類(文系傾向)B類(理系傾向)2つの類型に分かれ多様な選択科目に分かれて学習します。長期休業期間を含め、進学補習を実施し、Classiを活用して課題の配信等も行っております。大学進学者は年々増加しており、面接及び小論文指導は学年、分掌の枠を超えて、教員全員の協力のもと、全校体制で実施をしております。また、安心・安全な学校づくりを目指した生徒指導も行われております。私たちPTAも年に2回、6月と10月に交通安全登校指導に協力をさせていただき、子どもたちの見守りを行っております。

部活動については、運動部は陸上競技、野球、サッカー、弓道、テニス（男女）、ソフトテニス（女）、バレーボール（男女）、バスケットボール（男女）、バドミントン（男女）、卓球（男女）、剣道、体操、カヌー、文化部は吹奏楽、美術、書道、家庭調理、理科、華道、茶道、放送、演劇、軽音楽、JRC・インターアクト、漫画研究、ESSが熱心に活動しております。運動部での顕著な成績を紹介いたします。カヌー部は18年連続インターハイに出場しており、今年度も出場選手全員が予選を突破し、準決勝進出の活躍でした。弓道部は平成30年・令和元年度に関東大会に出場しております。ソフトテニス部は平成28年度に関東大会に出場、今年度は団体戦県ベスト16の活躍、バドミントン部は昨年度県ベスト8の活躍、剣道部は令和3年度男子団体戦県ベスト16の活躍です。陸上競技部、男女バレーボール部、男子テニス部、男女バスケットボール部、サッカー部、女子卓球部は県大会に出場しております。文化部の顕著な成績を紹介します。軽音楽部は平成30年度まで3年連続で関東グランプリ大会に出場しました。書道部は昨年度、県書道芸術展にて特別賞を受賞、今年度は、埼玉県書道芸術展にて越谷市長賞、推薦賞を受賞いたしました。吹奏楽部は平成28年・令和元年度 県吹奏楽コンクールにて優秀賞を受賞、今年度は埼玉県吹奏楽コンクールCの部にて金賞を受賞いたしました。美術部は平成30年度日学黒板アート甲子園にて優秀賞を受賞いたしました。JRCインターアクト部は、毎年あしなが学生募金・越谷市ごみゼロ運動、川の応援団に参加しております。私たちPTAもテントや横断幕等、様々な支援の方法で、子どもたちの活躍を応援しております。

本校の施設・設備については、HR教室には冷暖房が完備され、情報室では、40人が1人1台パソコンを使用することができます。図書館には、放課後も勉強等で使用する生徒がおります。2階の進路資料室前の廊下には様々な進路情報が掲示され、子どもたちも活用しております。食堂は、250席あります。創立40周年記念事業として3階にマルチメディア室を新設いたしました。体育館、グラウンド、テニスコート5面、弓道場等では日々、熱心に部活動の練習が行われております。

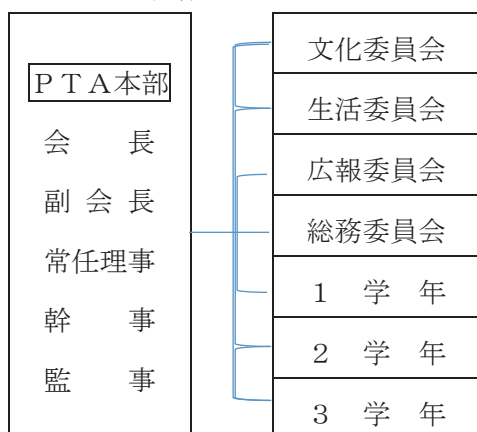


本校へのアクセスですが、一番近い駅は東武スカイツリーラインの越谷駅です。越谷駅または武蔵野線の越谷レイクタウン駅からもバスが出ておりますが、一番バスの本数が多く、利用しやすいのが、武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅からのバスで、15分、バス停から徒歩5分ほどです。

3 本校のPTA活動

ここからはPTAの活動紹介をさせていただきます。本校のPTAの組織は本部を中心に、文化、生活、広報、総務の4つの委員会、各学年で構成されています。本校のPTAの組織と今年度の活動計画です。

<PTAの組織>



<令和5年度活動計画>

令和5年	4月10日(月)	入学式
	4月14日(金)	会計監査
	4月15日(土)	PTA新旧理事会
	5月13日(土)	PTA・後援会総会
	5月26日(金)	体育祭
	6月 3日(土)	第1回PTA後援会理事会
	6月 5日(月)	交通安全登校指導
	6日(火)	交通安全登校指導
	8月26日(土)	第2回PTA後援会理事会
	9月 9日(土)	若菜祭
	10月 2日(月)	交通安全登校指導
	3日(火)	交通安全登校指導
	10月14日(土)	PTA後援会研修旅行
	11月 7日(火)	高P連専門委員会研修会①(発表担当校)
	11月10日(金)	マラソン大会
	20日(火)	高P連専門委員会研修会②
令和6年	1月20日(土)	第3回PTA後援会理事会
	3月 8日(金)	卒業証書授与式
	3月18日(月)	入学許可候補者説明会

さて、家庭教育の取組みについて、テーマを「PTAスローガンの定着を通じた学校との連携の一層の強化について」と設定いたしました。テーマ設定の理由は、令和4年度学校自己評価における保護者アンケートにおいて「本校のPTAスローガンを知っている」という設問の回答結果が、残念ながら、約7割は知らないという結果だったことです。

<回答結果>

よく当てはまる	11%
やや当てはまる	22%
あまり当てはまらない	30%
まったく当てはまらない	13%
分からない	24%



本校PTAには「お父さん、お母さん、出番です」というスローガンがあります。これはPTA活動に前向きに取り組む姿勢を感じさせる心強いスローガンだと思います。とても心強く前向きなスローガンなので、私たちは何とかこのスローガンを定着させて、学校でも家庭でも、お父さん、お母さんの出番を増やし、学校との連携を一層強化したいと思い、私たちがスローガンの定着のためにできることを考えてみました。しかし、活動できる時間も限られているので、「実現が難しいこと」「実現までに時間のかかること」を進めていくのは困難な状況です。限られた条件の中で、どうしたらスローガンを定着させることができるのか、様々な方法を考えてみました。その結果、スローガンを定着させるために実現可能な方法として「スローガンをアピールするポスターを作ってPTA行事等の際に皆さんに見ていただきスローガンを知っていただく」と考えました。そして一番、保護者の皆さんにアピールできる三者面談の時に目につきやすいところに掲示しよう、と考えました。様々なデザインを考えながら

ポスター制作に取り組み、

そして、ついにポスターが完成しました。

こちらが完成したポスターです。

とてもスローガンが分かりやすく

コバトンも可愛いポスターが完成しました。



4 おわりに

このポスターは三者面談で掲示していただき、PTAの各行事でも積極的にアピールを続け、現在、学校との連携も一層図れております。このスローガンが定着し、ますますの本校のPTA活動の発展を心から願うとともに、今年度の保護者アンケートの結果を期待したいと思います。



家庭教育とPTA

埼玉県立所沢中央高等学校
PTA会長 池邊 朗子

1. 本校の概要

(1) 沿革

埼玉県立所沢中央高等学校は、昭和55年(1980)4月1日、全日制、普通科、共学、定員270名(6学級)として所沢市並木501番地(現住所 所沢市並木8丁目2番)に設置されました。

令和5年(2023)4月1日現在、1学年319名 2学年315名 3学年300名(計934名)、各学年8学級、教職員75名で創立44年目を迎えました。卒業生も14,000名を超え、各方面で活躍しています。

(2) 生徒の居住地と通学方法

生徒の居住地は、所沢市(50.3%)と隣接する狭山市(18.0%)、入間市(10.1%)、新座市(10.5%)、三芳町(1.5%)で9割を超えます。それ以外も川越市、飯能市、ふじみ野市、富士見市など近隣の市となっています。

通学方法は、自転車、徒歩(60%)、電車、バス等(39%)で、通学時間も30分以内(48%)、30~60分以内(40%)と地域に密着した学校です。

(3) 目指す学校像

「授業」「学校行事」「部活動」をとおして人間力を高め、夢を実現させる学校



(4) 重点目標

- ① 規律ある態度と主体的に行動する姿勢を養う
- ② 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る
- ③ 地域との連携をとおし、社会に貢献する人材を育成する



(5) 学校生活と進路状況

学校生活は「挨拶・時間・規律」を基本に、学業、行事、課外活動にバランスよく取り組み、人間力を総合的に高めていくことを目指しています。

卒業後の進路は、四年制大学(44%)、短期大学(8%)、専門学校(39%)、就職・その他(9%)で、3年次では文系・理系・看護医療薬学系の3つのコース制を取り、多様化する進路希望や受験形態に対応しています。

2. 本校のPTA組織と活動内容

(1) 組織

本部役員 約20名 (PTA会長1名、PTA副会長10名、後援会会長1名、後援会副会長3名、
監事3名 委員長3名)

理事 約80名 (総務委員、広報委員、進路教養委員)

PTA本部役員は、3年間の任期終了後、後援会の役員としてPTAを1年間サポートします。

(2) 年間事業計画

1学期 4月(入学式 新旧理事会 新旧委員会) 5月(PTA後援会総会 進路行事)

6月(体育祭 学校評価懇話会) 7月(広報くすのき発行)

2学期 9月(校外清掃活動 文化祭)

10月(研修旅行 授業参観 保護者懇談会 進路行事)

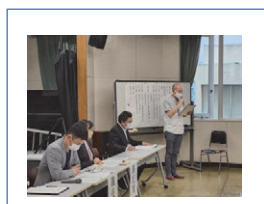
3学期 2月(学校評価懇話会)

3月(広報くすのき発行 卒業式 新理事選出)

その他に、本部役員会、理事会、各種委員会は年6回、高P連関係の研修会や大会への参加、生徒登校時のバス乗車指導などがあります。

(3) 活動内容

【本部】は、総会、理事会の運営、資料作成、各委員会との連絡調整を行います。写真は令和4年度、5年度の総会の様子です。コロナの間、紙面開催でしたので、議事進行の確認に戸惑い苦労しました。



【総務委員会】は日帰り研修旅行と文化祭の企画参加を担当します。コロナ前は活発に活動し会員相互の親睦を深めることができました。楽しい企画ですので来年度に向けて前向きに検討中です。



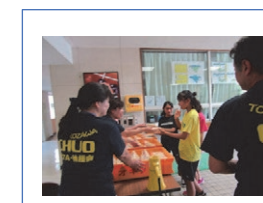
【広報委員会】は、年2回のPTA広報「くすのき」の編集発行を担当します。原稿依頼や行事の取材・写真撮影などをしますが、体育祭のカメラ係はグラウンドに入る事ができるので人気の仕事です。



【進路教養委員会】は、年2回の保護者対象の進路説明会・講演会の企画運営、会場の準備、受付などを担当します。我が子の進路に役立つお話を聞くことができるので、毎回たくさんの方が参加します。



【その他】、学校周辺の清掃活動、生徒登校時のバス乗車指導は本部役員と理事のみなさんが協力して行います。清掃活動は生徒の皆さんも参加し、地域の方からも好評をいただいています。



3. 近年のPTA活動状況

令和2年度(2020)は、新型コロナウイルス感染症のため、PTA後援会総会は紙面開催とし、本部役員会以外の会議や行事は中止しました。PTA広報「くすのき」は前後期合併号として年度末に1回発行しました。

令和3年度(2021)もPTA後援会総会は紙面開催でしたが、進路教養委員会主催の進路説明会は感染症対策を徹底して年2回実施しました。PTA広報「くすのき」は、写真撮影や原稿依頼を広報委員が担当して年2回発行しました。本部役員会、理事会、各種委員会などの会議は、必要な場合のみ開催しました。

令和4年度(2022)、コロナに係る行動制限が緩和される中、保護者の健康に配慮しながら各種会議、新旧理事会、PTA後援会総会を開催しました。進路教養委員会主催の「保護者向け進路説明会」やPTA広報「くすのき」の発行は、前年度に引き続いて予定通り実施できました。また、体育祭や文化祭は保護者の観覧が可能となり、保護者受付をPTA役員で担当しました。しかし、この3年間、仕事の引き継ぎができず、多くの事業が再開できませんでした。

令和5年度(2023)、コロナが5類となり、各種会議で今後の活動について検討しています。コロナ禍以前の形態に戻すのは困難な状況ですが、働き方改革や保護者の負担軽減を考慮しながら、旧来の形にとらわれないPTA活動を展開していきたいと考えています。



4. 所沢中央高校の家庭教育

家庭教育の中で私たち保護者が戸惑いや不安を感じるのは、子供の「進路(学習)」と「生活」ではないでしょうか。心身ともに健やかな成長を願う親の気持ちと、親から自立し自我の確立に向かって揺れ動く子供の気持ちは、微妙な距離感を持って進んでいきます。所沢中央高校では、毎年、学校自己評価アンケートを生徒と保護者に実施しています。今回はそのデータを参考に親子の意識の違いを考察してみました。

(1) 学校自己評価アンケートより (数字はすべて%)

【1】あなたはどのような高校生活を送りたいですか。	生徒	保護者
①勉強や資格取得など進路実現のための取り組み	(22.5)	(34.0)
②部活動に積極的な取り組みたい	(12.6)	(5.9)
③学校行事や生徒会活動に積極的に取り組みたい	(10.9)	(2.4)
④学校での人間関係を豊かにしたい	(43.4)	(37.3)
⑤自己を見つめ、いろいろ考えたい	(10.7)	(20.9)

生徒と保護者が高校入学後に期待しているのは、「豊かな人間関係」と「進路実現のための学習」で共通していることがわかります。ただ、生徒は部活動や学校行事にも魅力を感じており、保護者は進路や学習、そして人格形成の場を学校に期待しています。

【2】家庭で進路について話し合う機会はありますか。	生徒	保護者
①日常的によく話題となる	(30.1)	(44.6)
②学校で面接や調査がある時には話題となる	(55.3)	(46.4)
③ほとんどない	(14.6)	(9.9)

生徒、保護者とも高校卒業時の進路の重要性を認識しており、日頃から親子の話し合いが多いことがわかります。ただし、面接や調査など学校からの連絡が会話のきっかけとなっている家庭が多いようです。

【3】あなたの進路希望と保護者の希望は一致していますか。	生徒	保護者
①一致している	(73.8)	(64.7)
②異なる	(4.9)	(2.8)
③保護者の希望はあるが、本人が未定	(6.2)	(14.3)
④保護者の希望は特になく、本人も未定	(15.1)	(18.6)

過半数以上の親子の希望が一致していますが、①の 10%の違いは、親子が本音で話し合っているのか気になります。また、④の数字にも驚きを感じます。将来への不安はないのでしょうか。

【4】あなたの日頃の授業以外の学習時間（一週間の総時間）はどれくらいですか

	生徒	保護者
①ほとんどしていない	(62.9)	(43.3)
②3時間程度（1日にすると30分程度）	(25.8)	(35.2)
③6時間程度（1日にすると1時間程度）	(7.9)	(18.2)
④12時間程度（1日にすると2時間程度）	(2.0)	(3.2)
⑤それ以上	(1.3)	(0.5)

【1】の項目と関連しますが、予想以上に家庭での学習時間が少ないことがわかります。また、「生徒の実態」と「保護者の認識」が大きくずれているところも問題ではないかと思えます。親が思っているほど子供は勉強していないことがわかります。

【5】あなたのSNS（LINE等）の使用状況はどうですか。 生徒

①頻繁に使っており便利である	(88.9)
②頻繁に使っているが問題もある	(7.4)
③問題を感じるのであまり使わない	(2.6)
④使用していない	(1.1)

この質問は生徒だけの項目ですが、9割の生徒がSNSの問題点を意識していません。しかし、SNSを介した人間関係のトラブルはよく耳にします。薬物・売春・詐欺といった犯罪行為につながることもあり、親としてはとても気になる問題です。

(2) アンケート結果から

まず、高校生活に求める内容が親子で一致していることがよくわかります。高校で友達をたくさん作って楽しい毎日を送りたい(送ってほしい)と生徒も保護者も考えているのでしょう。また、進路に関する話し合いもなされていて、将来の希望も親子で一致しており、親子のコミュニケーションがしっかりと取られています。

しかし、SNSの使用に関しては、新たな課題として今後取り組みが必要だと思えます。ソーシャルネイティブ世代である子供たちの意識を、親の私たちが適切に把握していく事は容易ではありません。学校で、スマホやインターネットの弊害についての講演会や指導もしていただいておりますが、家庭での教育が最も大切である事は言うまでもありません。子供の個性や多様性を認めながら親子のコミュニケーションを深め、親と子と学校の三者がお互いの理解と信頼を培う時代を迎えていることを認識しなければなりません。

5. 最後に

高校生活の中で子供は大きく成長していきますが、中学校までとは違った形での家庭の関わりが求められます。親の役割は大きく、慎重に対処することが必要です。ただし、家庭の状況は大きく変化しています。共稼ぎや一人親家庭、少子化など社会的問題が山積しています。また、親として子どもの育て方に自信をもてない場面も増えたように思います。そんな中、学校行事やPTA活動は、子どもの動向について情報を得るよい機会です。学校の指導方針や取り組み、他の生徒さんの様子などを知ることができます。

新型コロナウイルスによって、本校のPTA活動は大きく停滞しました。以前の活発な時代に戻ることは難しいかもしれません。しかし、社会の変容に合わせた、PTA活動の改変も必要ははずです。どのような形にすべきなのか手探りの状態ですが、PTA活動の本来の目的を忘れずに、今後も企画運営に取り組んでいきたいと思えます。

家庭教育におけるPTA活動

埼玉県立大宮商業高等学校

PTA 会長 杉本 香織

1 学校概要

本校は、昭和19年に埼玉県大宮女子商業学校として創立し、昭和31年4月に埼玉県に移管され、埼玉県立大宮商業高等学校と改称し、本年度79年目を迎える伝統ある商業高校である。全日制は商業科のみ設置され、15学級で約530名の生徒が学んでいる。所在地はさいたま市見沼区であり、さいたま市・上尾市・春日部市から通学する生徒が7割以上を占める。進路状況は、コロナ禍以前は就職6割進学4割となっていたが、近年は就職進学ともに5割となり、その割合に変化が生じてきている。

本校の教育活動は、1年次での「ビジネス基礎」「ビジネスコミュニケーション」などビジネスの基礎的素養を学習することや、3年次での「総合実践」「課題研究」など、ビジネスを総合的実践的に学習することを目指している。また、新学習指導要領を導入している1学年は、「観光ビジネス」「ビジネス・マネジメント」などを教育課程に組み込んでいる。また、特徴の一つに、商業科という学科の特性上、多くの資格取得が可能となっており、埼玉県知事による専門資格等取得表彰制度受賞や、全商協会実施の検定試験3種目以上1級取者を毎年多数輩出している。加えて、全商協会主催の検定試験だけでなく、日商簿記検定、Microsoft Office Specialist 検定、秘書検定等の幅広く多様な分野の検定試験に対応できるカリキュラムとなっている。

目指す学校像「地域とともに未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒を育成する」を実現させるために、「勤勉・礼節・誠実」の校訓のもと、進路を見据えたきめ細かな生徒指導を行っている。多くが基本的生活習慣の確立された生徒たちだが、身だしなみや正しい制服の着用等の指導の徹底をはかり、品位ある高校生活を過ごせるように意識させている。また、進路実現に向けてのキャリア教育や2年生希望者（コロナ禍以前は全員）を対象にインターンシップを行っている。学校の雰囲気は大変落ち着いている。その成果として、保護者アンケートでは、「お子さんを大宮商業高校に入学させてよかったですか。」「お子さんは、自分の将来の希望（夢）を実現するため、努力していますか。」という質問では、「当てはまる」「大体当てはまる」が、どちらも約90%とおおむね肯定的な評価になっている。



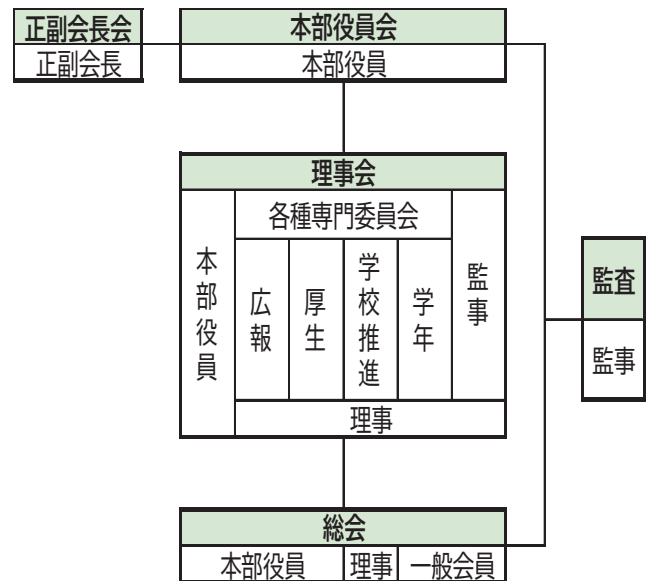
本校校門から見える懸垂幕に、校訓「勤勉・礼節・誠実」が見える



石碑にも校訓の文字

2 PTA組織と構成

本校では、入学時に各クラス3～4名理事を選出し、右記の組織図のように分かれて活動している。任期は生徒在学中3年間である。全体の活動としては、毎年5月に総会を実施し、理事会及び委員会を年3回実施している。各部の活動については、年間行事の運営を円滑に行うため、関係各所と連携・協力・調整を図りながら実施している。



本部：理事会・総会 高P連関係

広報委員会：きずな（PTA広報誌）発行
学校行事の取材

厚生委員会：PTA研修旅行主催 新年会主催

学校推進委員会：青少年健全育成講演会参加
登校指導

学年委員会：保護者会

3 家庭教育とPTA

令和5年9月、本校保護者を対象に家庭教育とPTAに関するアンケートを実施した。その結果が以下のとおりである。

① PTA活動と家庭教育の支援との関係性

○ 家庭教育で大切な内容項目を最大5つまで選んでください。

項目	%
基本的な生活習慣や生活能力	92.3%
社会的なマナー	87.2%
他人に対する思いやり	85.9%
自尊心や自立心	64.1%
人に対する信頼感	44.9%
基本的倫理観	37.2%
豊かな情操	16.7%
人権	16.7%
地域とのかかわり	14.1%

○ 家庭教育でPTAが支援できると思う内容を最大5つまで選んでください。

項目	%
社会的なマナー	79.5%
地域とのかかわり	55.1%
他人に対する思いやり	47.4%
人に対する信頼感	32.1%
基本的な生活習慣や生活能力	30.8%
人権	29.5%
基本的倫理観	24.4%
自尊心や自立心	23.1%
豊かな情操	19.2%

【結果】 家庭教育で大切だと考えられている回答上位3つのうち、「他人に対する思いやり」について支援ができそうだという回答を得た。また、家庭教育では「地域とのかかわり」をそれほど重んじていないという結果であったが、PTAでは「地域とのかかわり」が支援できそうだと考えているという回答が多かった。他人や地域に対するかかわりや思いやりなど社会性にかかわる支援に重点を置いた活動をPTAで実施することで、家庭教育で支援しきれない部分をサポートできることが示された。

②新型コロナウイルスと家庭教育

- コロナ禍で家庭の役割は変化しましたか。

増えた	19.2%
変わらない	80.8%
減った	0.0%

【結果】家庭での役割については、約8割の家庭が「変わらない」と回答したが、約2割の家庭は下記のような部分に変化があったと回答した。

【上記の質問に対し「増えた」という回答のまとめ】

- (1) 手洗い、うがい、手指消毒の徹底・マスク着用、人混みを避ける等の基本的な感染症対策を家庭でも気を付けるようになったという回答が多数あった。
- (2) 健康管理だけでなく、家族のメンタルケアに関することや、休校・学級閉鎖などが学校で生じた際の学習保証対策（端末準備や通信環境、家庭での学習環境を整えること）や、家庭での生活規律の管理などが生じ、気にしなければいけないことや気を付けなければいけないことが増えたといった類の回答も目立った。
- (3) 行動自粛などによって自宅で過ごす時間が増えたことで、家族と接する時間が増え、関係性が前向きになったという回答が多数あった一方で、社会から学ぶ機会が減ったという意見もあった。

- 新型コロナウイルスが5類になり、家庭の役割は変化しましたか。

増えた	2.6%
変わらない	94.9%
減った	2.6%

【結果】新型コロナウイルスが5類になっても、約9割半の家庭は「(5類に分類される前と)変わらない」と回答した。

【上記の質問に対する回答のまとめ】

- (1) 手洗い・うがい・マスク着用等、基本的な感染症対策は5類になっても引き続き行い、感染しないように気を付けたいという類の回答が多数だった。
- (2) 5類になったことで、これまで(5類になる前)よりも気持ち的に楽になったという回答も少々あった。

③情報社会との関わり

「ネット環境・いわゆる情報社会との関わりで家庭教育が果たす役割と課題はありますか(自由記述)」という質問に対する回答をまとめた。回答された、キーワードの上位20は以下のとおりである。

ネット、情報、環境、家庭、課題、子供、役割、SNS、使用、失敗、 制限、相談、注意、依存、必要、危険、親、マナー、トラブル、鵜呑み
--

情報社会においての家庭での教育やルールについて(特にスマートフォンの取り扱い)、様々な面で課題と認識していることがわかった。分類すると以下のような4つの点にまとめることができる。

家庭ごとに受け止めている課題の方向性が様々であることがうかがえる。

【結果】

(1) 情報収集に関する観点

ネットの情報を鵜呑みにしない・ネット上の情報に惑わされない・ネット上の情報をよく見定める等、情報の適切な収集について課題であると認識している家庭があった。

(2) SNS の利用に関する観点

X (旧 Twitter) や LINE 等の SNS との関わり方・活用方法等について課題であると認識している家庭があった。

(3) 利用時間・ネット依存 (スマホ依存) に関する観点

スマホの利用時間制限・ネット、ゲーム依存対策・学習との両立等について課題であると認識している家庭があった。

(4) その他の観点

環境の整備 (ハード面)、ネットだけでなく対話を増やす、デジタルリテラシーやネットモラルに関する家庭教育等について課題であると認識している家庭があった。

④ P T A で支援して欲しいこと

「家庭教育で、P T A で支援して欲しいことは何ですか (自由記述)」という質問に対する回答をまとめた。

【結果】

進路に対する支援をして欲しい、タブレット端末の補助 (経済的支援)、成人年齢引き下げに関する講習会を始めとする各種研修や講演会など学習機会の提供、地域とのつながりや関わりを深める機会の提供に関する要望が見られた。

4 アンケート結果をふまえて

この保護者アンケートの結果を家庭教育及び P T A 活動に活かすため、各家庭にアンケート結果をフィードバックし、情報の共有化を図るとともに、各家庭における家庭教育についての対話を促す機会を持ち、このアンケート結果を以降の P T A 活動に活かし、更に発展させていく。

5 おわりに

現在の P T A 活動の見直しや役員の負担軽減、保護者の皆さまが学校への関心を更に高めるようにするための工夫など、本校の P T A 活動には検討しなければならないことがある。そのような中で、学校としっかり連携して生徒の自己肯定感を育み、学校や生徒の成長を根幹から支えるより良い組織となっていけるよう支援していきたいと思う。



家庭教育とPTA

埼玉県立秩父高等学校

PTA会長 浦島則之

1. 秩父高校の歴史

埼玉県立秩父高等学校は、今年で創立116年目を迎えます。明治40年に裁縫女学校として創立、大正7年に秩父町立実科高等女学校として認可、昭和23年に埼玉県立秩父女子高等学校と改称されました。

また、昭和12年に秩父町立秩父商業学校設立認可。昭和23年に組合立埼玉県秩父高等学校と改称しています。

昭和25年に埼玉県立秩父女子高等学校と組合立埼玉県秩父高等学校が統合し、埼玉県立秩父高等学校として、現在の形となりました。

以来、地域の普通科進学校として、2万9千を超える卒業生は政治、経済、医療、教育等の各分野で活躍を続けています。



【往時の校舎】

2. 現在の秩父高校

現在は、進路希望に合わせたクラス編成を実施し、各学年で総合進学4クラス、特別進学2クラスで教育活動を実施しています。2年次からは、多様なコース・科目選択を可能とし、少人数クラス編成のメリットを活かし、例年、北海道大学や東北大学等の国公立大学に10数名現役合格を果たすとともに、いわゆるGMARCHをはじめとする有名私立大学にも多数進学しています。



【現在の校舎】



【令和5年ロビーナ高校短期留学】

また、オーストラリアのロビーナ高校と姉妹校提携を結び、本校生徒が、短期留学をするとともに、ロビーナ高校からも生徒を受け入れています。

令和5年度は、20名が短期留学に参加、ロビーナ高校からも18名が来校し、各家庭にホームステイ、授業に参加し日本の生活を満喫しました。

3. 秩父高校点景



【図書館入口】



【図書館閲覧室】

秩父高校の図書館は、地元の材木を使った贅沢な造り。100周年を迎えたときに、同窓生の協力もあり、建て替えられたものです。約4万冊の蔵書を誇り、2階の自習室では、夜遅くまで、生徒が学習しています。



【文化祭箏曲部】



【体育祭】

文化祭は「いちよう祭」と呼ばれ、例年 9 月に行われます。祭り好きの秩父らしく入念な準備をして、臨みます。

体育祭の伝統はフォークダンス。今年度は久しぶりに通常開催しました。

秩父高校は部活動も盛んです。運動部13、文化部11の部活動があり、ほとんどの生徒がいずれかの部活動に所属しています。昨年度は、弓道部が関東大会出場、放送部が全国大会出場を果たしました。



【弓道部】



【放送部】

4. 秩父高校のPTA

① 組織

- ・本部役員会：会長、副会長、幹事、監事、専門委員長、会計
- ・10支部会：支部長、副支部長
- ・専門委員会：進路対策委員会、研修補導委員会、広報委員会

② 各委員会等の活動内容

・本部役員会

各委員会の運営補助、総会・授業公開の受付等、文化祭でのバザーの運営

・進路対策委員会

学校説明会の協力(保護者が答える質問コーナーの運営)、講演会(進路に関する)の企画運営。

今年度は『家庭教育研修会』に関する事業の企画運営(特別講演会、生活に関するアンケート調査)

・研修補導委員会

PTA研修旅行(保護者対象で大学見学等)の企画運営、朝のあいさつ運動の協力(登校指導)年3回

・広報委員会

広報誌「山懐(やまふところ)」の発行(年2回)



【文化祭バザー】



【PTA 講演会の様子】



【朝のあいさつ運動】



【PTA 研修旅行】

5. 家庭教育とPTA

① 特別講演会「命の大切さ」 講師：内田望氏（国保町立小鹿野中央病院 院長）

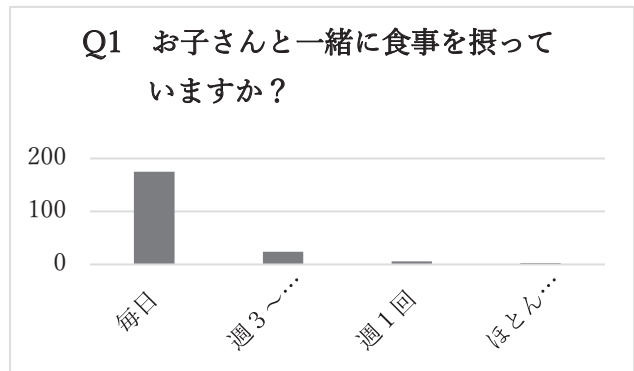
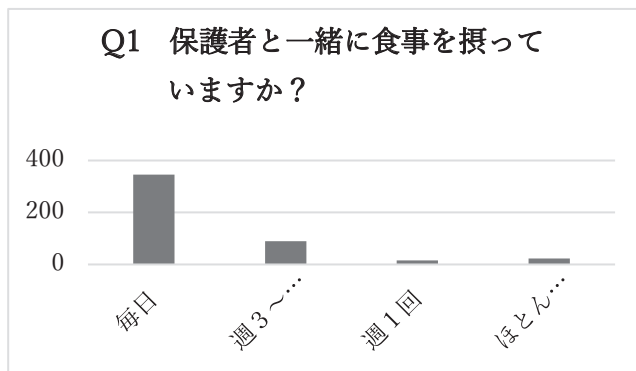
令和5年7月21日（金）に「生徒と保護者がともに学ぶ機会」として、講演会を開催しました。内田先生の語り口は、時にユーモラスで笑いを誘ったり、真剣に語りかけてくださったり、時間が経つのがあっという間でした。「死ねっと言わない」「ありがとうを言う」「自殺はしない」この3つのメッセージが大変心に響きました。

私たちがこの世に生まれてくる確率は、1億円の宝くじに100万回連続で当たったのと同じほど奇跡なことで、とても神秘的な確率で生まれてくるということをお話して下さいました。決して「あたりまえではない」ということ、命の重さや尊さを親子で再認識する貴重な時間となりました。

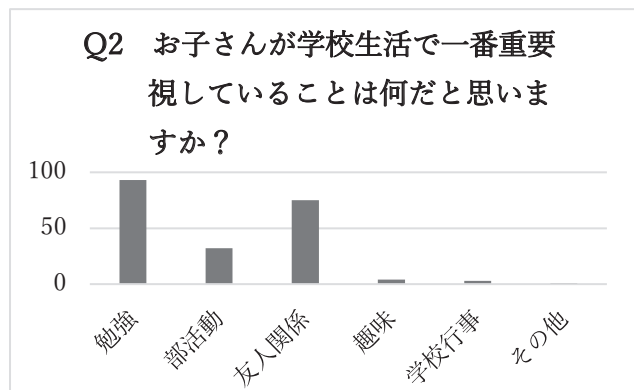
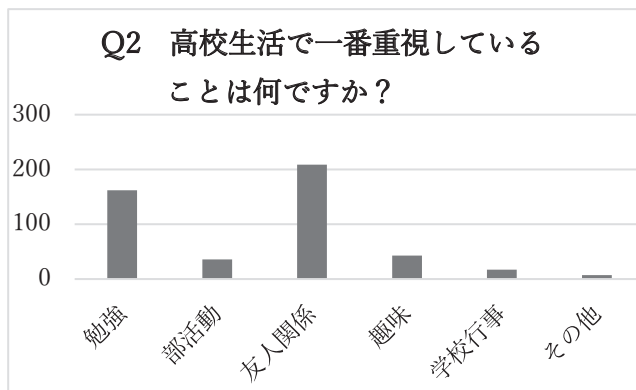
② 生活に関するアンケート調査・報告（回答者数：生徒 474 名、保護者 208 名）

☆生徒☆

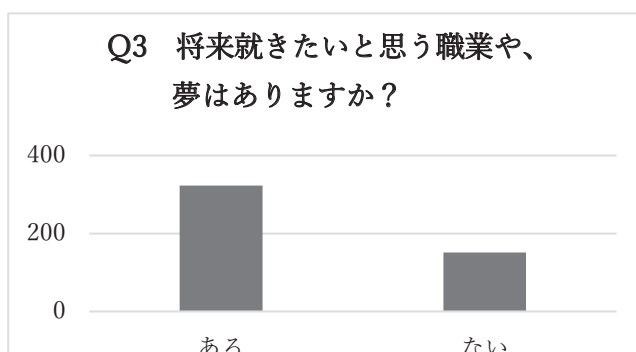
★保護者★



・食事を親子ともにとっている割合が多い。

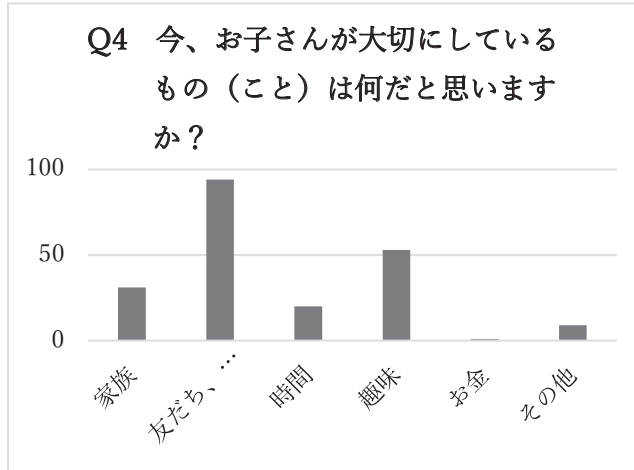
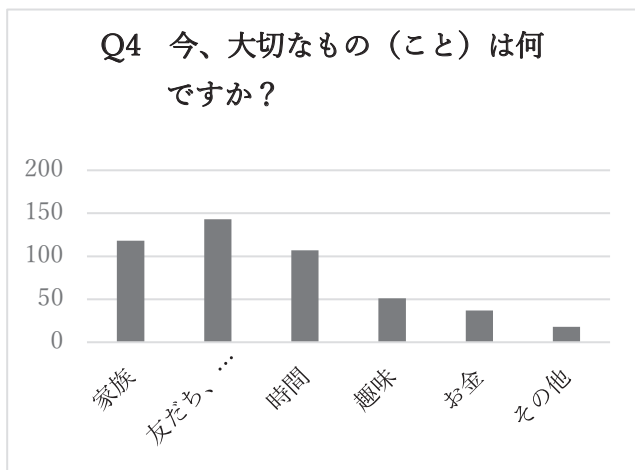


・親が思っている以上に人間関係を重視している。

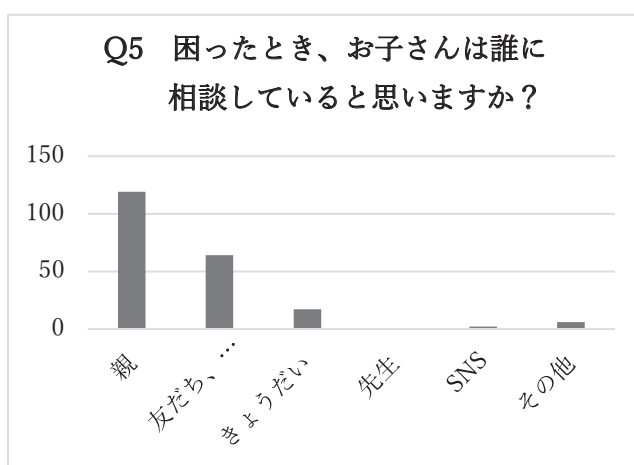
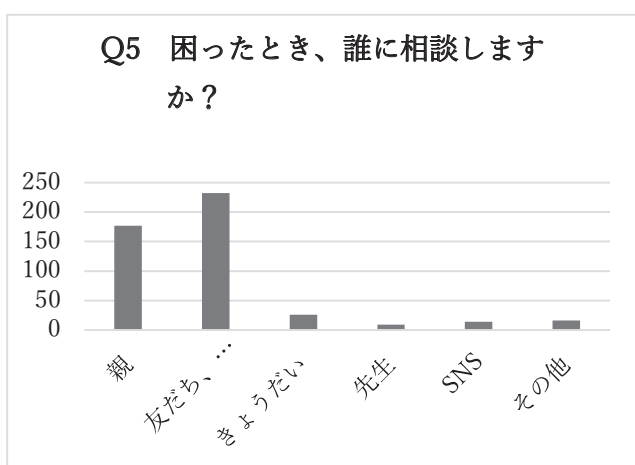


・日頃から、親子の会話が多いことがわかる。

・将来の夢を親に話している子や、それを知っている親は同程度の割合を示している。ある程度の将来像は、親子間で共有できているのではないかと推察される。



・親の半数は、友人関係を重視していると思っていたが、家族を大切にしている子も多い。
それらに次いで、時間を大切にしているという回答より、有意義な学校生活を送れていることが想像できる。



・親に相談している人の割合は4割を満たさないのに対して、友人や恋人に相談している人が半数を占めている。
・保護者は、自分の子供が相談を親にしていると思っている人が6割近くいるとわかった。

今回実施した5つの質問から、保護者が子どもへの理解に努めることが重要ではないかと考える。子どもが今何を抱えて、何を大切にしているか、今一度話をしてみるのも大切だ。しかし、人生の自立、或いは自律の準備の段階でもある高校生活、将来に色濃く関わる時期の中で、どう接していくかが今後の課題であるともわかった。

今後もこのようなPTA活動を通じて家庭教育の場を育む活動を行っていきたい。

6. おわりに

ここ数年のコロナ禍により、本校のPTA活動は停滞しました。PTAがサポートしてきた学校行事も中止になり、PTAの親睦自体も難しい状況となりました。そんな中、今回の「家庭教育とPTA」の発表をきっかけに進路対策委員会を中心にそれぞれの委員会活動もコロナ禍以前に戻れるよう進めることができ始めました。高校で学びながら子どもたちが成長していってくれることは、親にとってとても嬉しいことです。PTAはそれを少しでも支援できれば良いのだと思います。コロナ禍で途切れたPTA活動も今までどおりでなく、視点を変え時代に合った活動ができると思います。これからも後援会、同窓会とも連携、協力し、学校と協働しながら子どもたちの教育活動を支援していきたいと思います。

ペーパーティーチャーセミナー

教員免許はあるものの、全く教職経験のない方や
教職経験はあるものの様々な理由で教職を離れている方に
説明・相談会等を行います。

<対象者>

教員普通免許状を有している方（有効期限超過により失効している方も含みます）で、さいたま市立を除く県内公立学校で勤務を希望する方

<申し込み>

下記QRコードからアクセスし、
応募フォームに必要事項を入力してください。



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

第1回令和5年9月30日（土）

午後1時30分～午後4時30分
彩の国 すこやかプラザ2階大ホール

【申し込み締め切り】9月22日（金）

第2回令和5年10月18日（水）

午後1時30分～午後4時30分 春日部地方庁舎3階大会議室

【申し込み締め切り】10月11日（水）

第3回令和5年10月24日（火）

午後1時30分～午後4時30分 ウェスタ川越4階大会議室

【申し込み締め切り】10月17日（火）

第4回令和5年11月12日（日）

午後1時30分～午後4時30分
彩の国すこやかプラザ2階大ホール

【申し込み締め切り】11月3日（金）

第5回令和5年11月26日（日）

午後1時30分～午後4時30分
熊谷地方庁舎4階大会議室

【申し込み締め切り】11月20日（月）



<内容>

- ・説明Ⅰ（20分）
教員として任用されるまで
- ・説明Ⅱ（15分）
最近の教育事情について
- ・説明Ⅲ（15分）
待遇・福利厚生について
～休憩～ 教科書展示（15分）
- ・教員として働いてみて（経験者談）（25分）
- ・説明Ⅳ（10分）
研修制度・サポート体制について
- ・相談・登録会
70分（相談等希望する方のみ）
※5回とも内容は同じです。

※教員免許状に関する お問い合わせ
は、下記をご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2210/kyoin-menkyo/index.html>

埼玉県教育委員会

[問合せ先] ①小・中学校のお仕事を希望される方
県教育局小中学校人事課 TEL 048-830-6937
②県立高校・特別支援学校のお仕事を希望される方
県教育局県立学校人事課 TEL 048-830-6738

キャリアデザイン・セミナー開催

～進学や就職など自分のキャリアを、企業視点からを考える～

当日の内容

企業経営者と生徒・保護者・関係教員の四者による面談会を行います。

企業が求める人材像や現代社会の状況などから高校や大学等卒業後の自分らしいキャリアと進路を考えます。



期待できる効果（昨年度の感想から）

生徒

- ・企業経営者から見た自分の特徴や長所がわかる。
- ・社会人になる際の漠然とした不安が解消できる。
- ・自分のキャリアを考える時間となり、これから意識すべきことが整理できる。
- ・学校では経験できない、企業経営者との面談ができる。

保護者

- ・企業人の考え方を、子供と一緒に学べる貴重な機会。
- ・固定的だった進路に対する考え方が広がる。
- ・子供と普段話せない進路について話すきっかけとなる。
- ・子供の人生を見通しながら、目の前の進路を考えることができる。

教員

- ・普段聞くことができない、例えば、企業の評価基準や給与の考え方を知るなど、今後の教科指導力や進路指導力の向上につながる。
- ・生徒が相談している内容から、生徒達のリアルなニーズや悩みを理解できる。

日時・場所

日時 令和6年1月27日（土） 午前の部 9：30～12：30
午後の部 13：30～16：30

※面談時間は一組あたり45分です。終了後、解散となります。

※詳細の時間は開催日の一週間前までに御連絡します。

場所 新都心ビジネス交流プラザ4F（JR埼京線 北与野駅北口より徒歩約2分）
遠方の方は、オンラインでの御参加も可能です。

面談予定者

県内4経済団体から推薦者

<県内4経済団体>

埼玉県経営者協会

埼玉県商工会議所連合会

埼玉県産業振興公社

埼玉中小企業家同友会

※面談者は社長、専務、常務などを予定

申込方法

担任の先生に申し出てください。

申込期日 ○月○日（○）

※ 参加者は、別紙「参加申込書」を御提出ください

※ 保護者の方の参加が難しい場合は、担任の先生に相談してください。

埼玉高P連第 38 号
令和5年10月5日

県公立高等学校長 様
県公立高等学校PTA会長 様

埼玉県高等学校PTA連合会
会 長 大竹 雅樹

埼玉県高等学校PTA連合会 ハイスクール24還元事業

「AED設置推進校」の募集について（ご案内）

日頃より、PTA連合会活動への御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連合会が加盟校保護者様にご案内している「ハイスクール24」について、皆さまのお陰をもちまして多数のご加入いただき、厚く御礼申し上げます。

「ハイスクール24」は、埼玉県高P連が団体契約をすることにより、一般加入より4割超の割引率で加入できるメリットのほかに、事務費等の収益を加盟校に還元できるメリットがあります。連合会では、新たな還元事業の拡大を模索してまいりました。

そして、ヘルメット着用推進事業に加え、今年度は「AED設置推進事業」を新規に企画いたしました。AEDの使用は一刻を争うため、保健室、体育館、校庭、格技場などに各所に設置したい実情がありますし、遠足、長距離走大会など校外行事に携帯したい事情もあります。

このような実情を踏まえ、ハイスクール24還元事業「AED設置推進校」を募集いたしますので、希望される学校PTA様は、下記の要領でご応募いただきますようご案内申し上げます。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1 配布機種 | ストライカー社製「サマタリンPADシリーズ」 |
| 2 メンテナンス | 8年間消耗品0円保証、メンテナンス保証 |
| 3 取扱社 | 株式会社ヤガミ（東京都北区）
（商品発送、メンテナンス、オンライン説明会関係） |
| 4 応募受付 | 応募用紙にご記入のうえ、メール送信してください。
E-mailは sai.p@saikoupren.jp です。 |
| 5 応募〆切 | 令和5年10月31日（必着） |
| 6 設置推進校発表 | ハイスクール24の加入状況等により10校選考します。
推進校に決定した学校に11月10日までに連絡します。 |
| 7 設置ケース等 | 別売です。 取扱社まで相談ください。 |